

久留米

市議会だより

第168号

平成25年7月15日発行

発行：久留米市議会

編集：議会広報委員会

久留米市城南町15番地3

電話 0942 (30) 9305



久留米市議会
新体制決まる!!

6月10日議長・副議長選挙（投票の様子） 議長に原口新五議員、副議長に金丸憲市議員が就任

第2回定例会

第2回市議会定例会は、6月10日から24日までの15日間の日程で開催されました。

▷平成25年度一般会計補正予算、JR久留米駅西口駐車場新築工事請負契約締結、議員発議によるTPP（環太平洋経済連携協定）への対応に関する意見書などを可決。▷監査委員などの人事案件に同意しました。

ページ

- 一般質問（個人）…………… 2～3、6～7
- 議会日誌…………… 2
- 各常任委員会委員、議会運営委員会委員の紹介、新エネルギー調査特別委員会報告…………… 4～5
- 常任・特別委員会の活動状況（4～6月）、人事案件、議員の表彰…………… 7
- 提出議案と審議結果及び報告、請願、意見書、一部事務組合議会議員の選挙…………… 8

就任あいさつ



議長 原口 新五



副議長 金丸 憲市

暑さ厳しい季節となりましたが、市民の皆様にはますますご健勝のことと思います。このたび、私たちは久留米市議会の議長及び副議長の職責を担うこととなりました。

現在、市は(仮称)久留米市総合都市プラザ及び北部一般廃棄物処理施設の建設という二大事業に取り組んでおりますが、限られた財源の中、中核市の市議会として円滑な議会運営のもと十分に議論を重ね、市へ必要な提言を行い改革を促してまいります。

また、地域経済の浮揚、安全安心な暮らしの実現など市民の皆様の負託に応えられるよう全力を尽くす所存です。で、一層のご支援、ご協力を心からお願い申し上げます。

市政に対する一般質問



6月12、13、14、17日の4日間、一般質問が行われました。その一部の要旨をお知らせします。

駅を拠点とした観光振興を

明政会議員団

別府 好幸

問

久大本線沿線の耳納北麓地域は、自然やフルーツ等の豊かな観光資源に恵まれている。観光の拠点となる草野駅や田主丸駅で、地

答

観光客にとっての駅は、目的地への案内や観光拠点としてさまざまな役割を担っている。駅を観光客受け入れの窓口とした取り組みを進めているが、効果的な魅力発信の手法について、さらに検討していきたい。



レンタサイクルの貸し出しはここで(JR田主丸駅に隣接する田主丸ふるさと会館)

また、駅を拠点とした観光の視点も取り入れ、地域の交流人口の拡大と活性化に努めていきたい。電動アシスト自転車の導入は、「駅から観光地まで遠い」等の利用者からの声も踏まえ、検討を進めたい。

風疹予防接種費用の助成は

公明党議員団

吉住 恵美子

問

妊娠初期に風疹に感染すると、白内障、心臓病、難聴等を伴った赤ちゃんが生まれる可能性がある。風疹患者の急増を受け、妊娠を予定・希望している女性と配偶者に対し、予防接種費用を助成する自治体もある。本市でも予防接種費用の助成をすべきではないか。

答

今年度に入り、本市でも風疹の相談件数が増加傾向にあるため、風疹の予防や予防接種について、ホームページ等により注意喚起を行っている。また、予防接種を呼びかけるチラシを作成し、婚姻届提出の際に配付するなど、窓口での周知・啓発に努めている。今後の流行や他自治体の取り組み状況を見きわめながら、妊娠を希望する夫婦等に対する予防接種費用の助成について、研究を進めていきたい。

議会日誌(6月)

- 10日 本会議
会期の決定(15日間)、諸般の報告、請願審査の報告・審議採決、新エネルギー調査特別委員会審査の報告(中間報告)、発議案の提案説明・審議採決、提案説明、議長・副議長選挙
- 12日 本会議 議席の一部変更、常任委員会委員・議会運営委員会委員の選任、一般質問
- 13日 本会議 一般質問
- 14日 本会議 一般質問
- 17日 本会議 一般質問、議案の付託
- 18日 常任委員会(教育民生・建設)議案の審査
- 19日 常任委員会(経済・総務)議案の審査
- 24日 本会議
追加議案(予算)の提案説明・質疑・付託、各常任委員会議案審査の報告・審議採決、議運等の閉会中の継続調査追加議案(人事)の提案説明・審議採決、一部事務組合議会議員の選挙、議員派遣の決定

差別・偏見をなくす
視点での自殺予防対策を

みらい久留米議員団

藤林 詠子

問

本市の自殺予防対策は、うつ病対策が中心である。自殺の原因は多様であるが、その中には差別や偏見による苦しみもある。生きづらさを抱える性的少数者は、自殺リスクが高いと言われる。自殺予防対策として、差別や偏見をなくす取り組みの必要性をどのように考えるのか。

答

性的少数者に対する差別や偏見については、人権問題として、本市の人権教育・啓発指針の中に位置づけ、これまで教育や啓発に取り組んできた。しかし、これまでの取り組みにおいて、さまざまな差別や偏見が自殺の一因となっているという視点や認識が不十分だったと考えている。今後は、国の自殺総合対策大綱の見直しも踏まえ、性的少数者への社会的理解の促進が自殺予防につながることを認識のもと、市民等への情報提供を行うなど対応に努めていきたい。

老朽化した上下水道管路の
点検・対応は

公明党議員団

山下 尚

問

本年2月に東柳原地区で発生した道路陥没事故は、下水道管の腐食・破損によるものであった。下水道管は、布設後、30年を経過すると老朽化により陥没事故が起きやすくなる。布設後、長期間を経過した上下水道の老朽管路の点検や対応はどのようにしているのか。

答

布設経過年数が長い下水道管路は、劣化状態等の現状調査を本年度内に



深く陥没した中央分離帯の様子（東柳原町）

実施し、来年度に詳細調査を行った後、長寿命化計画を策定し更新・補修を進めていく。水道管路は、鑄鉄製配水管の更新を今年度中に完了し、ビニル製配水管の更新を来年度から実施していく予定である。上下水道は、市民生活等に不可欠なライフラインであり、今回の事故を教訓として、機能の確保と事故の未然防止に努めていきたい。

既存球場を改修した
硬式野球場の整備を

緑水会議員団

後藤 敬介

問

軟式野球と硬式野球では、使用球に違いがあるが、投手が投げる距離や塁間は同じである。既存施設である新宝満川地区野球場の防球ネット等を改修して、硬式野球場とすることはできないか。

答

本市の基本的な考え方として、市民の体力・年齢・目的に応じてスポーツに親しめるよう施設整備に努めている。硬式野球場の整備については、従来から研究を進めているが、新たに整備するには、多額の費用や用地確



軟式野球場として活用されている新宝満川地区野球場

域振興基金として活用してきた。新市建設計画は残り2年となり、主要事業や基金事業の総仕上げをしなければならない。今後の基金活用について、地域の要望に沿った使い方はできないのか。

答

基金活用対象事業の選定では、合併後の都市づくりを効果的に進める内容であること、全市域で実施すべき内容ではないこと、基金廃止後に継続的な多額の財政需要が生じないこと等を基本視点とした。事業の実施に当たっては、地域審議会の意見を踏まえながら、計画的に行い、全体の充当率は、24年度末で72・3%となっている。今後も、公金の支出という観点から事業の必要性や正当性を見きわめ、可能な限り地域の要望に応えられるよう、効果ある活用に努めていきたい。

地域振興基金の
今後の活用は

清風会議員団

新山 正英

問

合併前に旧4町が持つていた基金は、合併後、旧町地域に用途を限定した地



一般質問は6ページに続きます

※性的少数者…生物学的な「体の性」と自己意識の「こころの性」が一致しない人、性別に違和感を感じる人、恋愛感情などの性的な指向が同性や両性に向かう人など。

常任委員会は、その所管に属する市の事務を専門的に調査し、議案や請願を詳細に審査するために設置するものです。議長を除き、議員は必ず1つの常任委員会に所属します。

議会運営委員会は、円滑な議会運営を行うために議会運営全般について協議し、意見調整を図るために設置するものです。



所管事項 市の総合計画、財政、税務、市民との協働推進、地域振興などに関すること

**総務
常任委員会**

- | | | | | |
|---------|----------|-----------|----------|----------|
| 山下
尚 | 藤林
詠子 | 別府
好幸 | 原口
和人 | |
| 石橋
力 | 栗原
伸夫 | ◎新山
正英 | ○吉住恵美子 | 塚本
篤行 |



所管事項 子育て、学校教育、社会福祉、保健医療などに関すること

**教育民生
常任委員会**

- | | | | | |
|----------|----------|-----------|-----------|----------|
| 坂井
政樹 | 佐藤
晶一 | 石井
俊一 | 原
学 | |
| 甲斐征七生 | 堀田
富子 | ◎永松
千枝 | ○石井
秀夫 | 八尋
義伸 |

**議 会
運営委員会**

- | | | | | |
|----------|----------|-----------|-----------|-----------------|
| 後藤
敬介 | 市川
廣一 | 甲斐田義弘 | 藤林
詠子 | 原
学 |
| 八尋
義伸 | 原口
新五 | ◎別府
好幸 | ○青柳
雅博 | 副議長
金丸
憲市 |
| | | | | 秋吉
政敏 |



所管事項 議会の運営に関すること

6月定例会から、各委員会のメンバーが新しくなりました。

経済 常任委員会

- | | | | | |
|-------|-------|--------|--------|-------|
| 後藤 敬介 | 甲斐田義弘 | 塚本 弘道 | 緒方 正子 | |
| 青柳 雅博 | 吉田 帰命 | ◎田中 良介 | ◎古賀 敏久 | 今村 敏勝 |



所管事項 商工業、観光、農林水産業、上下水道などに関すること

建設 常任委員会

- | | | | | |
|-------|-------|--------|-------|-------|
| 永田 一伸 | 堺 陽一郎 | 秋吉 政敏 | 市川 廣一 | 田中 功一 |
| 金丸 憲市 | 森 多三郎 | ◎大熊 博文 | ◎吉富 巧 | 田中 多門 |



所管事項 住宅、道路、防災、環境保全、河川などに関すること

新エネルギー調査 特別委員会報告

藤林詠子特別委員長より、委員会における調査の経過について6月10日に報告がありました。

《報告の要旨》

本特別委員会は、新エネルギーに関する調査研究等を行うために、平成23年6月28日の本会議において設置された。

23年度は、本市の太陽光発電政策について調査研究を行い、12月19日に「住宅用太陽光発電システム設置費補助金の充実」、「公共施設への太陽光発電システムの積極的な導入」、「太陽光関連産業の振興」、「市民との協働」の4点からなる提言書を市長に提出した。

24年5月から翌年5月にかけては、太陽光発電以外の再生可能エネルギーを中心に調査研究を行った。

陽光発電以外の再生可能エネルギーの導入、「災害への対応」の4点からなる提言書を市長に提出した。

東日本大震災以降、我が国のエネルギーを取り巻く環境は大幅に変化し、再生可能エネルギーの位置づけも大きく変化した。再生可能エネルギーは、発電出力の安定性や設備のコスト面などの課題もあるが、環境負荷が少なく、地域の資源や特性を生かしたエネルギーの導入も可能であり、また、関連産業の育成や雇用の創出など地域経済の発展に寄与するという効果が期待されている分野でもある。

市民が将来にわたり、安全・安心な生活を営めるよう多様なエネルギーを確保するとともに、それらを効率的に利用するまちづくりの実現を目指し、私たちは、行政とともに再生可能エネルギーに関する施策を推し進めなければならない。

一般質問は3ページからの続きです

中心市街地再生に向けた まちづくりは

清風 議員団

吉田 帰命

問

全国的に中心市街地から人が少なくなり、活力やにぎわいが失われ、まちとしての魅力を失っている。本市も例外ではない。総合都市プラザが建設に向かつて進んでいるが、将来の中心市街地の活性化に向けたまちづくりをどのように考えるか。

答

中心市街地の活性化に向け、中心市街地活性化基本計画の認定を内閣総



総合都市プラザの建設と合わせてさらなる活性化が望まれる中心市街地

理大臣から受け、市街地整備都市福利施設、まちなか居住商業活性化の4分野、45事業に取り組んでいる。今後は特に総合都市プラザを核として、プラザが持つ機能が十分に発揮され、活性化につながるような事業展開に努めていく。また、中長期のビジョン(構想)を地域・商工会議所などと連携して、検討していきたいと考えている。

体験型通学合宿への支援は

明政 議員団

吉富 巧

問

現代の子どもたちは、情報化社会の中で、間接体験の機会が数多くある反面、直接体験の機会が少なくなっていると言われている。市内では「わくわく遊友体験塾」や「チャレンジ体験塾」などの「体験型通学合宿」の取り組みが実践されている。通学合宿の重要性や支援をどのように考えるか。

答

通学合宿は、学年や学校を超えた交流の場として、子どもたちの社交性、生きる力を育む貴重な機会となっていると認識している。

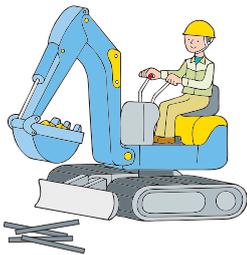
公共工事予算の 切れ目のない円滑な執行は

明政 議員団

永田 一伸

問

24年度3月補正予算では緊急経済対策として120億円の公共工事が前倒し計上されている。切れ目のない工事の円滑な執行のため、年度当初からの計画的な発注がなされているのか。また、国は技術者等の不足による人札不調を受け、専任を要する技術者等の兼務可能要件の緩和を認めたが、市ではどのように考えているのか。



答

経済効果を早期に発現するため工事費の8割を上半期に発注する、事業者が受注しやすい環境を整備するため少額工事の年度内平準化を図るなど、公共工事予算の円滑な執行ができるような対策を講じている。技術者等の兼務可能要件の緩和については、工事の品質管理や安全管理への懸念等を考慮し、現時点では行わないこととして、今後の人札状況を注視していきたい。

地域計画の周辺自治体との 協議は

無所属クラブ

緒方 正子

問

北部一般廃棄物処理施設建設に関して、第2次地域計画書を提出したと聞いている。環境省は地域計画は周辺自治体(現在、城島三瀬地区のごみを搬入している八女西部広域事務組合の構成市町)との協議が前提だと言っているが、組合事務局は正式な話はないとのことであった。その協議は、いつ、どこで行ったのか。

答

昨年末、19年度に承認を受けた地域計画の内容に関し、環境省から県を通じ、ごみ量・施設規模・対象範囲・スケジュール等を現在の市の計画に沿うよう見直すべきではないかとの指摘を受け、1月に第2次地域計画を提出している。この地域計画の策定に当たって、八女西部広域事務組合にはごみを新施設稼働に合わせて本市の施設で処理する方針を伝えており、今後、正式な協議を行っていききたい。

防災・減災の市民啓発は

みらい久留米議員団

永松 千枝

問

東日本大震災や九州北部豪雨を教訓に、新しい地域防災計画が策定され、その中では市民の協力の重要性もうたわれている。市民の防災に対する認識は高まっているが、最も大切なことは日ごろの備えである。防災の意識と心がけを多くの方々と共有することが良い結果を残すと言われている。防災や減災について、市民への啓発はどのように行いつのか。

※地域計画…「循環型社会形成推進地域計画」のこと。この計画に位置付けられた施設整備に対し、国から交付金を受けることができる。第2次地域計画書は、対象範囲を旧久留米市地域に加えて旧城島町及び旧三瀬町地域を対象に含むなどの変更を加えた内容となっている。



防災対策課が市民向けに行っている出前講座の様子

答

より多くの市民が参加できるよう、出前講座の実施回数や防災訓練を体験できる機会をふやすとともに、訓練内容についても、安否確認や徒歩による避難、避難マップづくりなど、体験型の取り組みをふやしていきたい。さらに、出前講座や防災訓練に参加できない方々には、SNSなどの活用も検討しながら、幅広い世代に対して防災情報を発信し、自助・共助の考え方に基づく地域防災力の向上を図っていききたい。

常任・特別委員会の活動状況(4～6月)

総務常任委員会

- ▼4月19日 所管事務調査「地域コミュニティについて」
- ▼5月22日 所管事務調査「筑後川流域クロスロード地域ビジョンについて」
- ▼6月19日 付託議案4件
 - ▽市税条例の一部改正
 - ▽市長等及び職員の給与の臨時特例に関する条例 ほか
- 各議案とも審査の結果、原案のとおり可決
- ▼6月24日 付託議案1件
 - ▽一般会計補正予算
- 審査の結果、原案のとおり可決

教育民生常任委員会

- ▼4月25日 所管事務調査「学童保育事業について」
- ▼5月23日 所管事務調査「国民健康保険制度について」

経済常任委員会

- ▼6月18日 付託議案2件
 - ▽交通事故による損害賠償の専決処分
 - ▽体育施設条例の一部改正
- 両議案とも審査の結果、承認または原案のとおり可決
- ▼4月24日 請願第2号「TPP(環太平洋経済連携協定)への対応に関することについて」紹介議員と請願者及び執行部に説明を求め、質疑のあと、継続審査に
- ▼5月30日 請願第2号について、執行部に説明を求め、質疑のあと採択
- ▼6月19日 付託議案2件
 - ▽(仮称)三潞中継ポンプ場建設工事請負契約締結(4億215万円)
 - ▽公営下水道管渠布設第40工区工事請負契約締結(2億8718万円)
- 両議案とも審査の結果、原案のとおり可決

建設常任委員会

- ▼4月25日 所管事務調査「平成24年度版 久留米市環境調査結果報告書について」
- ▼5月21日 所管事務調査「東合川野伏間線について」「北部一般廃棄物処理施設について」
- ▼6月18日 付託議案7件
 - ▽JRR久留米駅西口駐車場新築工事請負契約締結(3億2235万円)
 - ▽訴えの提起 ほか
- 各議案とも審査の結果、承認または原案のとおり可決
- 行財政改革調査特別委員会**
- ▼4月15日、5月16日 総合支所について
- ▼5月21日 総合支所のあり方について、市長に調査結果を通知
- 新エネルギー調査特別委員会**
- ▼4月12日、5月9日 新エネルギーに関する調査について
- ▼5月22日 再生可能エネルギー施策の推進について、市長に調査結果を通知

議会制度調査特別委員会

- ▼4月23日 議会制度に関する調査について

同意した人事案件

監査委員

- 津福本町 塙 秀二
- 大善寺町 秋 吉
- 津福本町 塚 本篤行

人権擁護委員

- 安武町 仲 芳美
- 南三丁目 甲斐田 義弘
- 北野町 小 坪喜代子
- 三潞町 野 田洋子
- 田主丸町 石 井孝男
- 大橋町 西 村英治

議員の表彰

全国市議会議長会表彰

- 在職20年 栗原 伸夫
- 在職10年 八尋 義伸
- 新 山 正英
- 塚 本 篤行
- 青 柳 雅博
- 原 口 和博
- 藤 林 詠人
- 石 井 俊一

※ SNS…ソーシャル・ネットワーク・サービスの略称。インターネット上で、友人・知人間のコミュニケーションを円滑にする手段や場を提供したり、趣味や嗜好、居住地域、出身校、あるいは「友人の友人」といったつながりを通じて新たな人間関係を構築する場を提供するサービス。
※自助…自分でできることは自分で行うこと。 ※共助…地域や身近にいる人同士が支え合うこと。

提出議案と審議結果及び報告 (第2回定例会)

議案番号	件名	結果	議案番号	件名	結果
〔予算関係〕 1件			69	人権擁護委員候補者の推薦について	同意
67	平成25年度久留米市一般会計補正予算(第1号)	可決	〔議員発議〕 1件		
〔条例関係〕 5件			発議5	TPP(環太平洋経済連携協定)への対応に関する意見書	可決
〔一般関係〕 10件			〔報告〕 16件		
62	久留米市手数料条例の一部を改正する条例	可決	報告1	平成24年度久留米市一般会計継続費繰越計算書	
63	久留米市情報公開条例の一部を改正する条例	〃	報告2	平成24年度久留米市一般会計繰越明許費繰越計算書	
64	久留米市市税条例の一部を改正する条例	〃	報告3	平成24年度久留米市一般会計事故繰越し繰越計算書	
65	久留米市体育施設条例の一部を改正する条例	〃	報告4	平成24年度久留米市競輪事業特別会計繰越明許費繰越計算書	
66	久留米市市長等及び職員の給与の臨時特例に関する条例	〃	報告5	平成24年度久留米市中央卸売市場事業特別会計繰越明許費繰越計算書	
52	交通事故による損害賠償の専決処分について	承認	報告6	平成24年度久留米市下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書	
53	交通事故による和解契約締結の専決処分について	〃	報告7	平成24年度久留米市下水道事業特別会計事故繰越し繰越計算書	
54	鉄柱破損事故による損害賠償の専決処分について	〃	報告8	平成24年度久留米市市営駐車場事業特別会計繰越明許費繰越計算書	
55	交通事故による和解契約締結の専決処分について	〃	報告9	平成24年度久留米市農業集落排水事業特別会計繰越明許費繰越計算書	
56	(仮称)三潞中継ポンプ場建設工事請負契約締結について	可決	報告10	平成24年度久留米市水道事業会計継続費繰越計算書	
57	公共下水道管渠布設第40工区工事請負契約締結について	〃	報告11	平成24年度久留米市水道事業会計予算繰越計算書	
58	JR久留米駅西口駐車場新築工事請負契約締結について	〃	報告12	久留米市土地開発公社平成25年度事業計画及び予算並びに平成24年度決算の報告について	
59	訴えの提起について	〃	報告13	財団法人久留米市開発公社平成25年度事業計画及び予算並びに平成24年度決算の報告について	
60	市道路線の廃止について	〃	報告14	公益財団法人久留米市生きがい健康づくり財団平成25年度事業計画及び予算の報告について	
61	市道路線の認定について	〃	報告15	財団法人久留米市体育協会平成25年度事業計画及び予算並びに平成24年度決算の報告について	
〔人事関係〕 2件			報告16	一般財団法人久留米市みどりの里づくり推進機構平成25年度事業計画及び予算の報告について	
68	久留米市監査委員の選任について	同意			

9月初旬です。
次の市議会定例会の
開催予定は、

吉富 巧

西筑衛生施設組合議会議員

吉田 帰命 坂井 政樹

三井水道企業団議会議員

吉富 巧

久留米市外三市町高等学校
組合議会議員

堺 陽一郎

久留米広域市町村圏事務組
合議会議員

一部事務組合議会議員の選挙

書
・TPP(環太平洋経済連携協定)への対応に関する意見書

意見書

◆採択したもの
・TPP(環太平洋経済連携協定)への対応に関する
ことについて 緒方義範 外

請願